

次亜塩素酸水 空間噴霧に新たな見解

日本除菌連合新聞

発行元
JJU 日本除菌連合
JAPAN JOKIN UNION

〒001-0011
札幌市北区北11条西2
丁目2-17 セントラル
札幌ビル4階
info@jyokin-jp.com
https://jyokin-jp.com

厚労省が次亜塩素酸水の 空間噴霧について 新たな事務連絡を通達

第3回感染対策を資材と方法から考える超党派議員連盟の場で、厚労省から空間噴霧を推奨していないのは消毒効果を有する強い薬剤を指しているものであり、消毒剤ではない雑品の次亜塩素酸水の空間噴霧については、各社の取り扱いに従って安全に使うようQ&Aを変更した旨の報告があり、山本厚労省副大臣からはこの変更を事務連絡で現場に伝達することと明言された。



山本厚労省副大臣に提言書を提出

9月8日水曜日14時より参議院議員会館講堂で第3回議員連盟が開催された。空気感染を防ぐための換気と空調に関する基調講演の後、各省からの中間報告があった。厚労省からは「空間除菌についての考え方について次亜塩素酸水の話が話題になっていたが、(厚労省が規制しているのは)いわゆる消毒効果を有するような強い薬剤を指しており、これについてQ&Aを修正。」との報告があり、新型コロナウイルスの第5波が収束しない中で1年以上にわたる次亜塩素酸水の空間噴霧に対する厚労省の見解が修正された。(2面に議事録を掲載)

厚労省からは「空間除菌についての考え方について次亜塩素酸水の話が話題になっていたが、(厚労省が規制しているのは)いわゆる消毒効果を有するような強い薬剤を指しており、これについてQ&Aを修正。」との報告があり、新型コロナウイルスの第5波が収束しない中で1年以上にわたる次亜塩素酸水の空間噴霧に対する厚労省の見解が修正された。(2面に議事録を掲載)

現在、新型コロナウイルスと変異種の感染拡大は感染力を増したウイルスの空気感染が原因とみなされており、換気ができない部屋や機械換気が不十分な施設、最大限の感染リスク対策を必要とする学校、介護施設、医療機関などは、次亜塩素酸水による除菌型空気清浄機の配置や次亜塩素酸水霧化機による空間除菌が必要とされる。



第三回議連の様子

意見広告

エアロゾル感染対策に 次亜塩素酸水の 空間噴霧を!



次亜塩素酸水の空間噴霧は有効かつ安全!

次亜塩素酸水は世界各地で感染対策として噴霧されているだけでなく、米国の疾病予防管理センター(CDC)も生体組織に対して無害(non-toxic)としています

次亜塩素酸水を噴霧し、空気中の塩素濃度を約20ppbへ高めれば、浮遊ウイルスを60分で約99%除去できることは検証済みであり、有効です。この濃度は屋内プールの室内空気中の塩素濃度と変わらない水準であり、労働安全衛生法では500ppb以下を安全としていますので、安全です

さらに、多くの動物実験や論文でもその安全性が明らかにされているだけでなく、今年には世界初となったヒトを用いた臨床試験でも安全性が再確認されました。次亜塩素酸は体内の白血球(好中球)がウイルスや菌に対して生成する物質です。そして、水道水にも次亜塩素酸が含まれていて、私たちの毎日の生活を支えてくれています

国は次亜塩素酸水の空間噴霧を禁止していた訳ではありませんが、「おすすめしない」としていたことから、現場では混乱が生じていました

この度、「感染対策を資材と方法から考える超党派議員連盟」の第3回総会で厚労省は、「強い消毒効果のある薬剤の空間噴霧を推奨していないのであり、次亜塩素酸水(除菌剤)はその対象ではない」とする見解が明らかになりました

厚労省のQ&Aページでは、「個々の製品の使用に当たっては、その安全性情報や使用上の注意事項を守って適切に使用する必要があります」としています

今後、速やかにこの事実が一般国民にとって分かりやすい情報発信で伝わり、学校、病院、介護施設などで以前のように安心して広く活用されるようになることを期待します

換気や空調に加え、エアロゾル感染対策として有効かつ安全な資材と方法があるので、いま感染を防ぐためには能動的に浮遊ウイルスを減らす空間除菌が必要なのです

安心してお使いいただくために

一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会議(JFK)では、次亜塩素酸水を安心して活用していただくために厳格な品質ガイドラインを作成し、塩素濃度、pH、使用期限の検査・認証を適切に行っていることが確認された製造販売業者に取り、JFK認証シールを発行することといたしました。詳しくは各メーカーの取扱説明書を確認の上、ご使用ください。



一般社団法人
次亜塩素酸水溶液普及促進会議
Jiaensosansuiyoueki Fukyusokushin Kaigi

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌ビル4階
TEL: 011-757-6317 Email: info@jia-jp.net URL: https://jia-jp.net

次亜塩素酸水溶液普及促進会議 検索 詳しくはJFKホームページへ →



超党派議員連盟で空気感染対策を議論

第三回感染対策を資材と方法から考える超党派議員連盟より抜粋

加田 それでは本日駆けつけていただきました先生方一人ずつ挨拶をしていただきます。



加田 雅也議員

石井 日本維新の会所属の参議院議員石井苗子です。保健師なのでヘルプに呼ばれることもあるんですけど、私も病人というのは基本的に寝間着で歩けるというのが基本です。ですから、やっぱり窓を開けられないのが困難だからと言って換気をしていると、そのほかのほかにコロナだけでなくほかの病気になるってしま...

塩田 公明党参議院議員の塩田博昭です。コロナの影響の中で、時期アルコナが用意できない、足りない、どうしたらいいんだと、中で相当苦しんだ経験がある。その時、次亜塩素酸なんかがかなり効果があるのではないかと、実際に効果も検証されていますが、特に今日の議題にもある空間除菌の方法がある。空間を一回吸い込んで洗濯機みたいに洗ってきれいな空気になった空気を入れ替える。今、フロアの中で一人がお亡くなりになる、一人が治療で完治された場合、全フロアが空にならないという空気は喚起できないという。一部屋ずつできない。こんな不便なことはない。そこにもっと簡単なものができればいい。これからはホテル、それから私保健師で避難所に行って、まったく密閉されていて体育館みたいなところの空気をと...

高城(厚生労働省) 厚生労働省コロナウイルス対策本部参事官高城と申します。冒頭で紹介されました川田先生等から製品につきましてご質問も何度も頂戴しています。これにつきまして厚生労働省、経済産業省、消費者庁と相談しているところです。その内、取り急ぎ厚生労働省として公務一般に対するQ&Aを出しているが、ここについて、空間噴霧についての考え方で次亜塩素酸水が話題になっていたので、この「空間噴霧について推奨しない」というのは、「政府はいゆる消毒効果を有する強い薬剤のものを指している、それ以外のものについては製品特性に応じて使用していただく」というQ&Aを修正してアップさせていただきます。

吉村(経済産業省) 経済産業省素材産業課の吉村です。今日越智会長からもご紹介いただきましたけれども、認証制度をしっかり作るというのは基本をしっかり作って、世の中にしっかりと品質をアピールしていただく。その中でもさらに踏み込んで、さらに踏み込んで製造の方法ですとか、作り方ですとか、管理の仕方ですとか、標準を留意して世の中につけていく引き続き、我々のほうで引き続き、

中(消費者庁) 消費者庁でございます。私たちが消費者庁として、厚生労働省、経済産業省と連携して進めさせていただきます。片山さつき会長開会挨拶、提言書につきましてはお手元にごさいます。やはり全国的な猛暑によって窓を開けての換気が困難な状態の中でコロナの急増が起きているのではないかと、思っています。すでに各都府県には、局所レベルまで伝えさせていただいているように、政治的・経済的・補正予算という流れになってきた時に、空気清浄、換気等の機器についての購入あるいは工事の助成措置については、二分の一ではなく四分の一、残り半は地方創生臨時交付金で埋めることで、それで負担がなくなるように、飲食店や家庭でも導入できるように、あらかじめ有効性エビデンスの早急な試験を行っていただく。それらとあわせて、普及の措置のために、つながるよう取り組みをしていただく。特に飲食業・観光業・イベント業などコロナ休業業種。自粛や規制の対象となっていたり、日本人特有の同調圧力によって、分の間お客が減り続けることと予想される業界は、我々としてしっかり守らなくてはならない。そこで行動をきちんとしていくように、こういっただけで、感染防止対策のガイドラインにきちんと入ってくることに、非常にいい流れになる。こういったことを先々、わが国の経済産業策として海外にも持っていく。



川田 雅也議員

川田 コロナ禍で集まるのが本場に難しいという状況を今後変えるべく、こうした皆さんの資材をしっかりと活用できるように、これら製品をいろいろと、これに普及していくことはとても大事なことだと思っております。私は厚生労働委員会に二回質問して、さらに田村厚生労働大臣に三重大福崎教授と面会してもらいました。説明を福崎教授からしていただいたので、ぜひ厚労大臣に理解を深めていただいたので、ぜひ今の大臣の下で大きな前進を見るように、動きを深めていきたいなと思っております。ぜひ9月中旬に大きな流れを作れるように、皆さんと協力して進めさせていただきます。

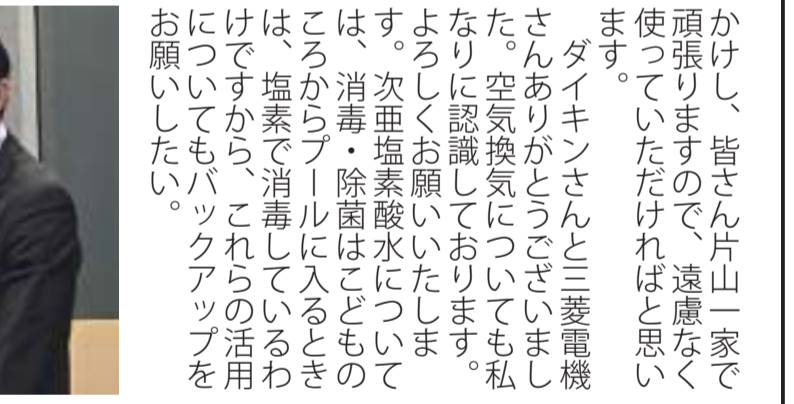


鈴木 誠議員

鈴木 参議院議員の鈴木誠です。私は片山先生の言ふなりに動きますので、何なりとお申し付けください。同時に日本維新の会の石井先生も出ていますので、今日片山大介議員も声かけし、皆さん片山一家で頑張りますので、遠慮なく使っていただければと思います。ダイキンさんと三菱電機さんありがとうございまして。空気換気についても私なりに認識しております。よろしくお願いたします。次亜塩素酸水については、消毒・除菌はこどものころからブルーに入るまでは、塩素で消毒しているわけですから、これらの活用についてもバックアップをお願いいたします。

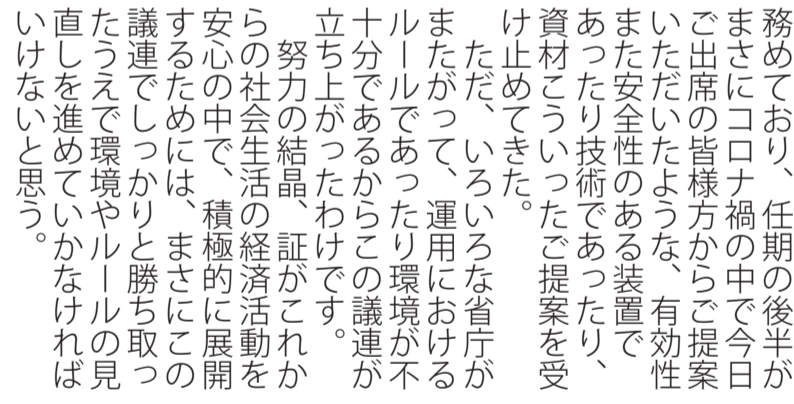


議員連盟で挨拶をする様子



宮本 誠議員

宮本 参議院議員宮本周司です。本日もご参加いただき、ありがとうございます。協会の皆様には、日頃の努力も含めまして感謝を申し上げます。一昨年の秋から昨年の秋まで経済産業大臣政務官を務めており、任期の後半がまさにコロナ禍の中で今日ご出席の皆様方からご提案いただいたような、有効性また安全性のある装置であったり技術であったり、資材こういったご提案を受け止めてきた。ただ、いろいろな省庁がまたあって、運用におけるルールであったり環境が十分であるからこの議論が立ち上がったわけですね。努力の結晶、証がこれからの社会生活の経済活動を安心の中で、積極的に展開するために、まさにこの議論でしっかりと勝ち取ったうえで環境やルールの見直しを進めていかなければいけないと思っております。



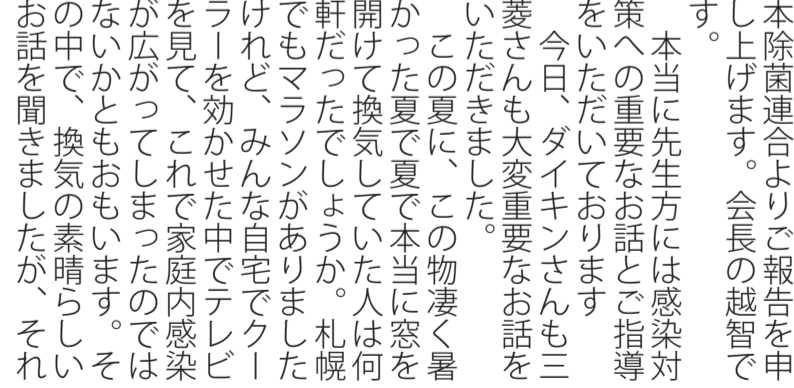
越智(日本除菌連合) 日越智

越智(日本除菌連合) 日本除菌連合よりご報告を申し上げます。会長の越智です。本日は先生方には感染対策への重要なお話しとご指導をいただきました。今日、ダイキンさんも三菱さんも大変重要なお話をいただきました。この夏に、この物凄く暑かった夏で夏に窓を開けて換気していただけたら、これはいいなと思います。ただ、みんな自宅でもマラソンがありました。けれど、みんな自宅でもマラソンを効かせた中でテレワークを見て、これ家庭内感染が広がってしまつたのではないかと、換気素晴らしいお話も聞きました。それで、いろいろな省庁がまたあって、運用におけるルールであったり環境が十分であるからこの議論が立ち上がったわけですね。努力の結晶、証がこれからの社会生活の経済活動を安心の中で、積極的に展開するために、まさにこの議論でしっかりと勝ち取ったうえで環境やルールの見直しを進めていかなければいけないと思っております。



片山 大介議員

片山 日本維新の会の参議院議員、片山大介と申します。別の場所でも鈴木宗男先生と一緒に、感染症対策を資材と方法から考えるというの面白い視点だと思っております。特に今回は、換気対策というところで、まだまだ見過ごされている点は多いのだと思っております。こういう場面で、みなさん勉強して、きちんと社会に対して定義と、きちんと御とかすれば、とても良い集まりだと思っております。私も頑張らせていただきます。



結果 身体計測、生理学検査の様子

【結果】身体計測、生理学検査、血液学検査、尿検査のすべての検査項目において、被験者群は対照群と比較して有意な差は認められなかった。また、身体計測、生理学検査、血液学検査、血液生化学検査のすべての検査項目において、吸入前時からの変化量と比較したところ、被験者群は対照群と比較して有意な差は認められなかった。【結論】次亜塩素酸水工アロソルを吸入した際の安全性について「問題ない」と判断された。

次亜塩素酸水の安全性を確認 ヒトを用いた臨床試験で 新型コロナウイルスのエアロソル感染を防ぐためには空気中のウイルスを除去しなければならぬが、換気や空調を徹底する以外に方法は無い。この後者の方法には除菌型の空気清浄機を配備する方法と、空間の空気自体に含まれるウイルスを能動的に不活化していく方法がある。

【背景と経緯】エアロソル感染を防ぐためには空気中のウイルスを除去しなければならぬが、換気や空調を徹底する以外に方法は無い。この後者の方法には除菌型の空気清浄機を配備する方法と、空間の空気自体に含まれるウイルスを能動的に不活化していく方法がある。【試験内容】2021年3月にJFKの加盟会社である森友通商株式会社製の次亜塩素酸水溶液を被験品とし、市販されている専用噴霧器を用いて被験者の部屋(14畳以下の個室)に霧状に充満させる臨床試験が行われた。30代から60代の男女20名を2群(10名/群)に分け、一方は部屋に次亜塩素酸水(被験品)を噴霧し、他方は部屋に水道水を噴霧。一日8時間、28日間、にわたりその部屋で噴霧気体を吸引したことに伴う健康への影響を比較検査し、用いられた。試験は「プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験」という、被験者が次亜塩素酸水と水道水のどちらが噴霧されたか分からない形式で行われた。【試験名】次亜塩素酸水工アロソル吸入による安全性確認試験 【被験品濃度】50mg/L (4倍希釈、有効塩素濃度500ppm、Dh1005、Dh1005S) 【試験対象者数】20名(10名/群) 【実施期間】2021年2月5日〜4月15日(事前検査から有害事象追跡調査終了日まで) 【実施医療機関】Vチヨダパ